

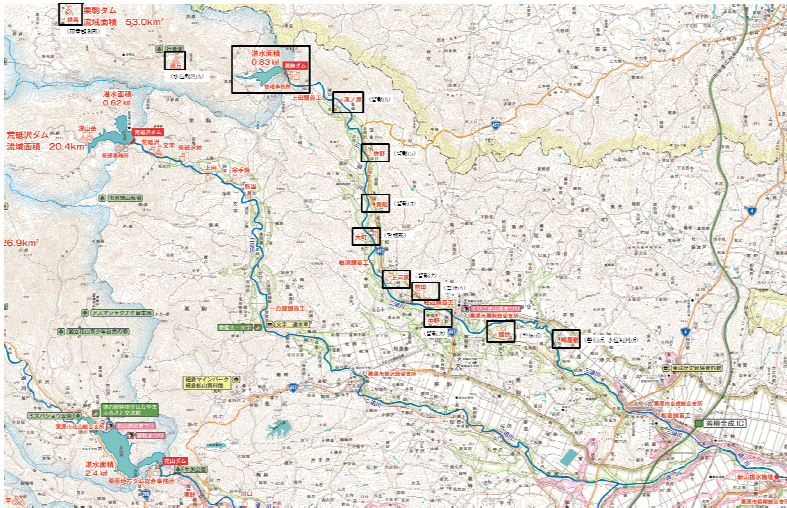
一級河川北上川水系 三迫川 栗駒ダムの効果(令和6年7月11日)

宮城県

○栗駒ダムでは、令和6年7月11日、梅雨前線及び低気圧により、**流域平均の累計雨量が61mm、最大時間雨量では20mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画1113.0m³/sに対し、**71.24m³/sを記録しました。**

○今回の洪水調節により**最大流入時の77.8%(55.39m³/s)を貯留し、**下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



ダムの状況写真



貯水池 ダム堤体上流
(撮影:7月11日9時40分)



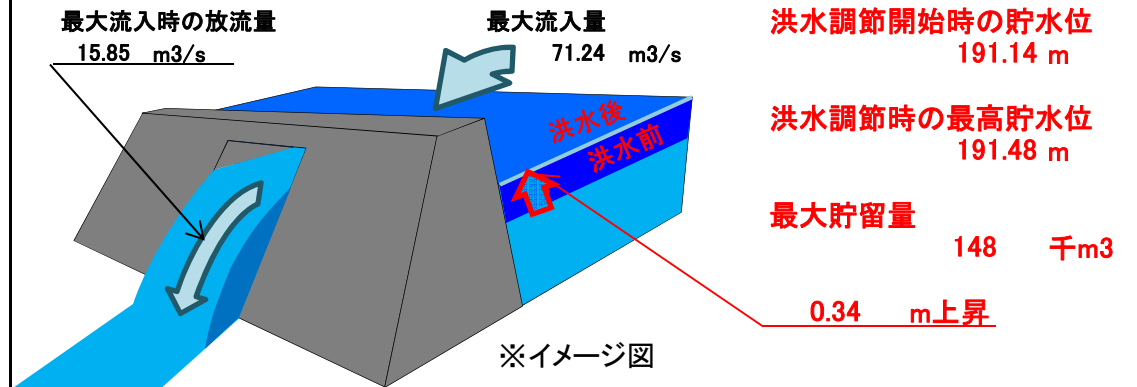
放流設備 ダム堤体下流
(撮影:7月11日9時40分)

栗駒ダムの洪水調節実績

・洪水調節	開始	11日 1時 20分	終了	11日 2時 20分
・ダム流域累計雨量		61 mm		(10日 9時 ~ 11日 2時)
・最大時間雨量		20 mm		(10日 23時 ~ 11日 0時)
・ダムへの最大流入量		71.24 m ³ /s		(11日 1時 40分)
・最大流入時の放流量		15.85 m ³ /s		
・ダムによる最大調節量		55.39 m ³ /s		(約 77.8%)

栗駒ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 77.8% をダムに貯留しました。



一級河川北上川水系 三迫川 栗駒ダムの効果(令和6年7月11日)

宮城県

○栗駒ダムの洪水調節等により、この鳴屋敷地点で、**水位を約1.55m低減させる効果**があったものと推測され、河川がはん濫する危険を軽減し、三迫川沿川市街地の洪水被害の防止に努めました。

下流河川の状況写真



(上流を望む)

7/11 10:15 水位 1.35m

【洪水後】栗駒ダム下流 岩ヶ崎地点



(下流を望む)



(上流を望む)

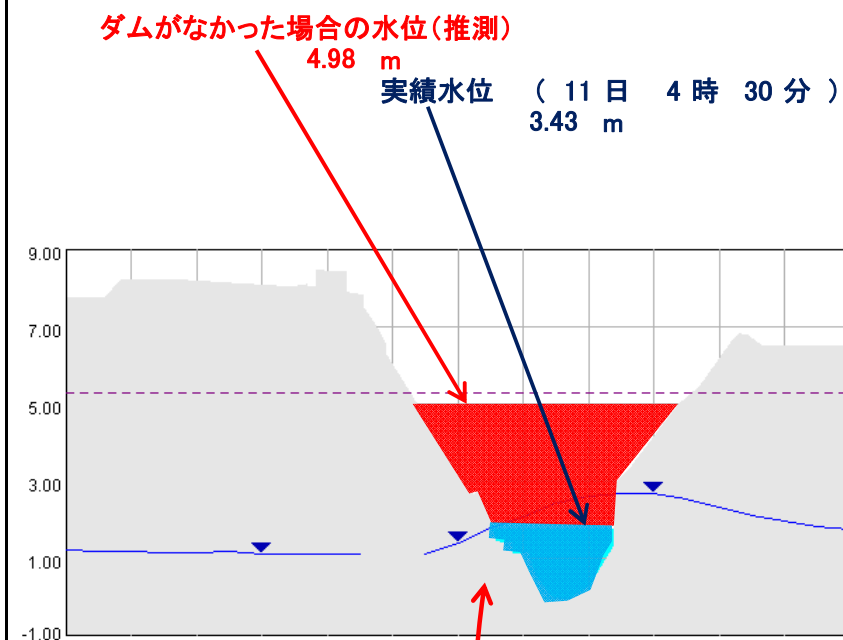
7/11 10:30 水位 2.51m

【洪水後】栗駒ダム下流 鳴屋敷地点



(下流を望む)

三迫川(鳴屋敷地点)の水位低減効果



ダムにより約1.55mの
水位低減効果を推測